

地区社協
だより

村国の郷

第47号

編集・発行
各務地区社会福祉協議会社協会費が
使われています

「様々なイベントでふれあいを」

各務地区社会福祉協議会 会長 長縄 秀平



この四月から会長を務めさせていただくことになりました。よろしくお願いたします。

前会長の澤井安直氏が三月下旬に急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。澤井氏は五年前会長を務められましたが、豊富なアイデアと人一倍の行動力で数々の実績を残されました。「村国の郷ふれあいの集い」を各務小体育館で開催するようにされたのも、「歴史で広がる郷土の福祉」プロジェクトを立ち上げて進められたのも澤井氏でした。またこの間、支部社協から地区社協への変更があり、意識改革や周知にも努められました。今後、私たちは敷いていたいたルールをしっかり踏みしめながら進み、新たな挑戦も行っていく所存です。どうぞご協力のほどお願いいたします。

さて、「歴史で広がる郷土の福祉」の取り組みは三年を経過しました。自分たちの地域の歴史に目を向けて郷土愛を育み、ここに暮らすみんなが繋がりを深めていくという思いで取り組んできたプロジェクトです。三つの歴史テーマを取り上げ、紙芝居の上演、歌や踊りの開発、健康体操の普及などを行ってきましたが、これからも、一年一テーマで三年を単位として繰り返しアピールしていきたいと考えています。そして、今年度は再び「おがせ池」を取り上げます。「おがせ池龍宮城伝説」の紙芝居上演のほか、「おがせ音頭」の歌と踊りで盛り上げを行います。七月二十一日の「おがせ池夏祭り」では、「男依音頭」「須恵器音頭」と合わせた三音頭を皆で踊りたいと考えています。



ます。

地域ふれあい広場も、公民館をめぐって年十回開催します。開催対象となる地域には、事前に自治会広報等でお知らせいたします。

今年度も様々なイベントを計画しております。ふれあいをするることによって、人の繋がりができる、思い出ができる、そして思いやりの心に繋がることと思います。多数のご参加をお待ちしております。

「おがせ音頭」

作詞・作曲
編曲
歌各務 幸作
林 繁良
外山 貴一

一

天野山のふもとには
桜花舞う池がある
幾多あまたの伝説を
伝え伝えておがせ池

おがせ おがせ おがせ音頭
今日はみんなで歌いましょう

二

赤や黄色の睡蓮が
池を彩る夏の朝
神の遣いは鯉や亀
しぶきあげるよおがせ池

おがせ おがせ おがせ音頭
今日はみんなで踊りましょう

三

池のほとりにたたずむは
新八景の石の塔
秋は紅葉も鮮やかに
染まる神祕のおがせ池

おがせ おがせ おがせ音頭
今日もみんなで賑やかに

四

白い雪が池に舞う
鳥の姿も見え隠れ
昇る煙は拝殿に
祈る人々おがせ池

おがせ おがせ おがせ音頭
今日もみんなで元氣よく

今年度の主な事業

月	日	曜	事業名	場 所
4	21	土	近隣ケアグループ研修会	各務福祉センター
	28	土	第1回理事会	各務福祉センター
5	13	日	横断旗設置事業	全域
			合同総会	各務福祉センター
	19	土	地域ふれあい広場(会本)	会本公民館
6	16	土	地域ふれあい広場(西・南北島、宮之前、 城之屋敷、おがせ町第三)	各務福祉センター
			第1回福祉講演会	各務福祉センター
7	1	日	機関紙「村国の郷」発行	全戸配布
	14	土	地域ふれあい広場(東組北)	東部公民館
	21	土	おがせ池夏祭りで「おがせ音頭」「男依音頭」「須恵器音頭」	祭り会場広場
			おがせ池夏祭り子どもフェスティバル協賛	
8	18	土	地域ふれあい広場(須衛第一、第二、第三、川崎団地)	須衛公民館
9	15	土	高齢者ふれあい交流	全域
			地域ふれあい広場(おがせ町第一)	北島団地公民館
10	19	金	第2回福祉講演会	各務福祉センター
	20	土	地域ふれあい広場(山の前)	山の前公民館
11	3	土	第5回村国の郷ふれあいの集い	各務小体育館
12	15	土	地域ふれあい広場(西組第一、船山町西)	西組公民館
H31 1	19	土	地域ふれあい広場(おがせ町第四)	池端公民館
			第3回福祉講演会	各務福祉センター
2	16	土	地域ふれあい広場(温井、船山町東)	温井公民館
3	1	金	機関紙「村国の郷」発行	全戸配布
	9	土	第2回理事会	各務福祉センター
	10	日	合同総会	各務福祉センター
	16	土	地域ふれあい広場(おがせ町第五)	おがせ公民館



今年度の地域ふれあい広場

< メニュー >

- (1) 男依健康体操
- (2) 紙芝居「おがせ池龍宮城伝説」
- (3) 紙コップ工作
- (4) 皿回しとけん玉
- (5) 綿菓子のプレゼント
- (6) ビンゴゲーム



ボランティアハウス

事業名	活動日時	場所
ボランティアハウス船山	毎月1回（第2日曜日 14時00分より）	船山西町集会場
ボランティアハウスさくら会北島	毎月1回（第1火曜日 11時30分より）	北島団地公民館
ボランティアハウスQ.O.L	毎週2回（月曜日・金曜日 13時30分より）	山の前公民館
ボランティアハウス結の会	毎月4回（第1・4土、第2・3月曜 10時00分より）	須衛公民館
ボランティアハウス庵（いおり）	毎月1回（第1日曜日 9時30分より）他	デイサービス庵（いおり）
ボランティアハウス かいもとふれあいハウス	毎月1回（第4日曜日 14時00分より）	会本公民館

ボランティアハウスは、地域の人々が閉じこもりにならないように集まり、楽しく交流することを目的としています。

定期的に行なうことで地域の支えあい、助け合いの輪が広がります。

当地区では6つのグループがそれぞれ活動しています。



「おがせ池龍宮城伝説」のあらすじ

領主に馬の手入れを頼まれた居飼惣八郎が、おがせ池の浅瀬に入って馬の体を洗っていると、池の水がボコボコと膨れ上がり、馬もろとも水中に引き込まれてしまいました。

それから3年後、惣八郎が戻ってきて「池の中の龍宮城で3日間厚いもてなしを受け、帰りに太刀

と人魚の肉を貰ってきた」というのでした。

池のほとりに住むお絹というお婆さんは、惣八郎が貰って来た人魚の肉を食べたところ、治らなかった歯痛が忽ちに消え乙女のように若返ってしまいました。お絹は髪を剃り仏門に入って諸国遍歴をし、最後には福井県若狭で八百年の寿命を閉じました。八百比丘尼と呼ばれた人です。

一方、惣八郎が持ち帰った太刀は、それが他人の手に渡りや、夜な夜な変な唸り声を出したり、洪水や日照りが繰り返されたりしたため、太刀のたたりと恐れられ必ず元の持ち主に戻ってしまふのでした。おがせ池に面したところに八大龍王なるお堂が建てて祀られ、以来、人々の信仰を集めています。



近隣ケアグループ

近隣ケアグループの活動は、地域において声掛けや見守りを通して支援が必要な人をその地域で支える取り組みです。この活動に活発に取り組むことによって、地域生活において孤立することなく、日々の暮らしを安心して続けることができます。

また、緊急時や災害時にも住民同士が助け合って、早く適切に対応できるようになると期待されます。

現在、各務地区では24グループ147名のボランティアの方が活躍されています。

	グループ名	代表者氏名	グループ員氏名			
西組	仲の宮さわやか(西町第一)	五島 千秋	黒井 真弓	稲嶺 泉		
	金山会(西町第一)	足立 怜子	足立知江子	足立 和子		
	船山東(船山町東)	大坪 真理	九野 宏子	永田美佐子	村松 説子	巖城スピトラーナ
			松田 弘子			
	たんぽぽ(温井)	黒井 彰	左高 裕治	長縄 英雄	市橋善太郎	長縄 勉
			黒井 政子			
	船山会(船山町西)	安藤 敏枝	磯野 珠美	海老 晶子	佐藤 和子	足立 晏子
			猪島 小雪			
中組	北島団地(おがせ町第一)	西村 誠	塩崎 文雄	岡崎健一郎	平木 孝道	佐藤 道紀
			安藤 広隆	迫田かつ子	徳田 博昭	保気口純一
	西北島	柴山 徳江	柴山みな子	柴山 晤子	池辺 絹代	澤井 千鶴
			吉田 典子	柴山 久子		
	南北島	早川 理子	早川 佳子	後藤 勝江	後藤 洋子	後藤 尚子
	宮之前	長縄 武司	澤井 洋平	中村 和夫	高岡 昭浩	市村 瑞穂
			澤井 三男	中林 勝		
	おがせ町第三	足立 富子	中道 定子	足立 みどり	足立 直美	後藤由美子
			後藤喜美子			
	城之屋敷	左高枝智子	安藤 純子	長縄美知子	長縄 弘子	長縄美和子
			左高 早苗	長縄 恵	尾田 一枝	
	すいれん (おがせ町第四)	加藤 順子	加藤 和子	五島 秀子	後藤美代子	足立 雅子
			加藤 宮子	宇野 純子	佐藤多佳子	鳥居 愛子
			鈴木千代子	市野 千鶴	山下 正枝	山田 洋子
	さわやか会 (おがせ町第五)	中村 美保	杉本 徳美	土山 みゆき	見島 洋子	寺野久美子
			岩原 正子	吉田 智美	松下 且行	鈴木 博
東組	あすなる(洞、洞川南)	長縄 悦子	長縄恵美子	長縄 博代	島内 依子	江口 光子
	ひまわり(木戸・宮の前)	宇野 裕子	鈴木 早代	鈴木 美貴	桑原 栄代	澤井 智子
	すこやか(山の前西)	五島 聖子	安達 康久	渡邊 弘子	吉松ひとみ	日下部幸恵
			脇本 夏子	安田 直子	五島 道子	鬼頭 明香
	たんぽぽ(山の前東)	井上三千代	五島 庸行	黒木 陽子	西山 優依	碓井 民子
			矢崎 幸恵	長縄 ゆかり	吉原 敬子	林 千代子
須衛	須衛第一 金場	古田佐枝子	白木 康子	塚原 替平	丹羽 務	古田 雄二
			白木 知子	白木 勝利		
	須衛第二 向田	石田 茂	石田 淳子			
	須衛第二 倉屋敷	川崎 廣宣	川崎 道子	川崎 尚子	八木ヒデ子	荻谷 雅恵
	川崎団地	中野 進	立木 伸明	村井 一正	牛田 正典	玉國 泰寛
			中谷 一彦			
	須衛第三 宮東	山本 敏男	山本マサ子	足立みゆき	足立 満	
	須衛第三 南屋敷	深尾 嘉子	深尾けい子	深尾 吉昭	深尾 治郎	
	会本	早川 博子	早川 勝	早川 万作		

平成30年度 各務地区社会福祉協議会役員

役 職 名	氏 名	備 考
顧 問	瀬川 利生	各務原市議会議員
顧 問	黒田 昌弘	各務原市議会議員
会 長	長縄 秀平	
副 会 長	五島 一征	民生委員児童委員各務小学校区代表
副 会 長	長縄 正範	各務自治会連合会長、城之屋敷自治会長
副 会 長	長縄 保典	各務大区長、中組区長
副 会 長	五島 末治	西組区長、西組第一自治会長
副 会 長	五島 隆	東組区長、山の前自治会長
副 会 長	深尾 吉昭	須衛区長、須衛第三自治会長
副 会 長	宇野 京志	東組副区長、青少年育成市民会議推進委員長
福祉推進員	五島 逸朗	民生委員児童委員
福祉推進員	宇野 卓夫	民生委員児童委員
理 事	白木 充	民生委員児童委員
理 事	左高 政二	民生委員児童委員
理 事	足立 鉄男	民生委員児童委員
理 事	早川 富保	民生委員児童委員、ボランティアハウスかいもとふれあいハウス代表
理 事	濱田 宏一	民生委員児童委員
理 事	佐藤 美法	主任児童委員、(各務小学校区・八木山小学校区担当)
理 事	左高 幹生	青少年育成市民会議小学校区推進指導員
理 事	木村 明	ボランティアハウス船山代表
理 事	桑村多鶴子	ボランティアハウスさくら北島代表、各務シニアクラブ会長
理 事	鈴木由里子	ボランティアハウスQ.O.L代表
理 事	古田 絹子	ボランティアハウス結の会代表
理 事	片岡 みか	ボランティアハウス庵(いおり)代表
理 事	黒井 彰	西組近隣ケア代表、西組第二自治会長、近隣ケアたんぼ代表
理 事	足立 富子	中組近隣ケア代表、近隣ケアおがせ町第三代表
理 事	五島 聖子	東組近隣ケア代表、近隣ケアすこやか代表
理 事	中野 進	須衛近隣ケア代表、近隣ケア川崎団地代表
監 事	古瀬 武	中組副区長
監 事	黒井 一雄	西組副区長
評 議 員	足立 可彦	各務校区体育振興会会長
評 議 員	長縄 真幸	各務小学校PTA会長
評 議 員	鳥居 環	子ども会育成本部会長
評 議 員	早川 貞幸	ふれあい活動指導員
評 議 員	吉田 典子	ふれあい活動指導員
評 議 員	寺野久美子	ふれあい活動指導員
評 議 員	秋山真由美	ふれあい活動指導員
評 議 員	宇野 一美	ふれあい活動指導員
評 議 員	森田 鈴子	ふれあい活動指導員
評 議 員	澤井 昌子	ふれあい活動指導員
評 議 員	宇野 勤	須衛副区長

役 職 名	氏 名	備 考
評 議 員	山下 博美	須衛第一自治会長、金場常会長
評 議 員	石田 茂	須衛第二自治会長、向田常会長、近隣ケア須衛第二向田代表
評 議 員	早川 勝	須衛会本自治会長
評 議 員	立木 伸明	川崎団地自治会長
評 議 員	川崎 廣宣	倉屋敷常会長、近隣ケア須衛第二・倉屋敷代表
評 議 員	山本 敏男	宮東常会長、近隣ケア須衛第三・宮東代表
評 議 員	深尾 治郎	南屋敷常会長
評 議 員	西村 誠	おがせ町第一自治会長、近隣ケア北島団地代表
評 議 員	柴山 吉生	西北島自治会長
評 議 員	早川 孝文	南北島自治会長
評 議 員	大野 誠	宮之前自治会長
評 議 員	左高 英希	城之屋敷常会長
評 議 員	後藤 厚	おがせ町第三自治会長
評 議 員	後藤 典夫	おがせ町第四自治会長(池端)
評 議 員	井上 克樹	おがせ町第五自治会長(おがせ団地)
評 議 員	安藤 敏枝	船山町西自治会長、近隣ケア船山会代表(船山西)
評 議 員	大坪 雅博	船山町東自治会長、青少年育成市民会議小学校区推進指導員
評 議 員	長縄 則幸	金山常会長
評 議 員	篠田 篤	仲の宮常会長
評 議 員	木全 孝	駒場常会長
評 議 員	宇野 充辰	木戸・宮の前常会長
評 議 員	小野木勝彦	東組北自治会長、洞東常会長
評 議 員	長縄 道之	洞西常会長
評 議 員	長田 勝好	洞川南常会長
評 議 員	五島 庸行	山の前東町内会長
評 議 員	安達 康久	山の前西町内会長
評 議 員	五島 千秋	近隣ケア仲の宮さわやか代表
評 議 員	足立 怜子	近隣ケア金山会代表
評 議 員	大坪 真理	近隣ケア船山東代表
評 議 員	早川 理子	近隣ケア南北島代表
評 議 員	柴山 徳江	近隣ケア西北島代表
評 議 員	長縄 武司	近隣ケア宮之前代表
評 議 員	左高枝智子	近隣ケア城之屋敷代表
評 議 員	加藤 順子	近隣ケアすいれん代表(おがせ町第四)
評 議 員	中村 美保	近隣ケアさわやか会代表(おがせ町第五)
評 議 員	長縄 悦子	近隣ケアあすなろ代表(洞、洞川南)
評 議 員	宇野 裕子	近隣ケアひまわり代表(木戸・宮の前)
評 議 員	井上三千代	近隣ケアたんぼ代表(山の前東)
評 議 員	古田佐枝子	近隣ケア須衛第一・金場代表
評 議 員	深尾 嘉子	近隣ケア須衛第三・南屋敷代表
評 議 員	早川 博子	近隣ケア会本代表

各務の歴史

連載③

「各務勝氏の

栄枯盛衰」

文・上村 南耀

各務勝氏が華々しく歴史上の表面に登場するのは平安時代からです。中央政府の決定への反逆行為に等しい、築堤工事現場の襲撃事件「広野河事件」がそれです。

この事件は八六六年七月に起きました。広野河（木曾川の二部）の洪水で流路が変わり、困った尾張国が中央政府に働きかけて元の流れに戻そうとしました。この築堤現場を美濃国各務郡大領の各務勝吉雄と厚見郡大領の各務勝吉宗が、歩騎の兵衆七百余人を率いて襲いました。

郡司の長官である大領は共に各務勝氏であり、名前からみても兄弟等、近い血族の可能性がります。美濃国南部の二郡の大領に任じられていたことから、各務勝氏の美濃国における勢力の大きさが窺えます。この事件で美濃守と介（次官）、尾張守と介が人事異動の対象になりました。一方、二人の大領の処遇は不明です。

およそ百年後の九六五年、出羽国権大目の前任者止八位上の各務勝利宗が各務大領であった秦好

実の死後、後任になりました。権大目（四等官）とあることから、恐らく二、三代の間、各務郡を本拠地としながら国司の一員の兼任をしたり、国守の代理勤務をする受領（美務国守）の下で働く国衙の在庁官人になっていた可能性があります。

九六六年には、美濃国少掾（国司三等官）外従五位下の各務宿禰隆成のいたことが知られます。また、一〇七〇年には美濃介・従五位下の各務宿禰良



遠も知られます。美濃国国衙の在庁官人としての地歩を固める中で、位から地方出身者を示す「外」が取れ、勝姓から宿禰姓へと昇格したことが知られます。また、九九九年には各務宿禰棟雄が出雲介に就任しています。美濃国以外の国司の一員として現地の国衙の在庁官人を務めるものも出るなど、一族の繁栄ぶりが分かります。

一二二一年に、源將軍家の胤が絶えた鎌倉幕府に対して、後鳥羽上皇が討幕を策した承久の乱では、各務氏は京方の陣営に立ちました。摩免渡（前渡）の渡して奮戦したのは鏡右衛門尉久綱です。この鏡氏とはおそらく各務宿禰氏の末裔で、宮城諸門警護の衛門府出仕経験者だと考えられます。

承久の乱で敗北した古代以来の豪族たちは歴史の表舞台から消え去りました。こうして、壬申の乱の功臣の末裔も、守護や新補地頭として派遣されてきた鎌倉幕府の御家人たちに地方豪族の主役を譲りました。

【用語解説】

※① 勝 百済国（朝鮮半島）からの渡来人系の氏族といわれる。

※② 厚見郡 現在の岐阜市の南部にあつた郡。

※③ 宿禰 天武天皇が制定した「八色の姓」の一つで、第三位の高位。主に連姓の氏族に与えられた。